

2 - 5 東北地方における地殻変動連続観測  
(傾斜変化, 1984年4月~1986年10月)  
Continuous Observation of Crustal Deformation in the Tohoku District  
(Tilt Change, April, 1984 - October, 1986)

東北大学 理学部  
Faculty of Science, Tohoku University

東北日本地殻活動総合観測線(第1図)を中心とした地殻変動観測所のうち, 計器長15m以上の水管傾斜計を有し, 良好なデータが得られている12観測点での1984年4月から1986年10月までの期間の傾斜変化について報告する。

既に報告<sup>1)</sup>したように, OGAでは1983年日本海中部地震を契機に, それまで顕著だった経年変化がほとんど消えてしまった。この期間についても同様に, ほとんど年周変化のみを示している。各観測点での傾斜変化の特徴は, 次のようなグループ分けが可能である。

- (1) 年周変化が卓越して経年変化がほとんどない観測点

OGA

- (2) 経年変化に年周変化が重畳されている観測点

NIB, NSK, TAZ, MYK

- (3) 降雨, 融雪等の影響が大きく, 明瞭な年周変化や経年変化が見られない観測点

SWU, WGA, SNR

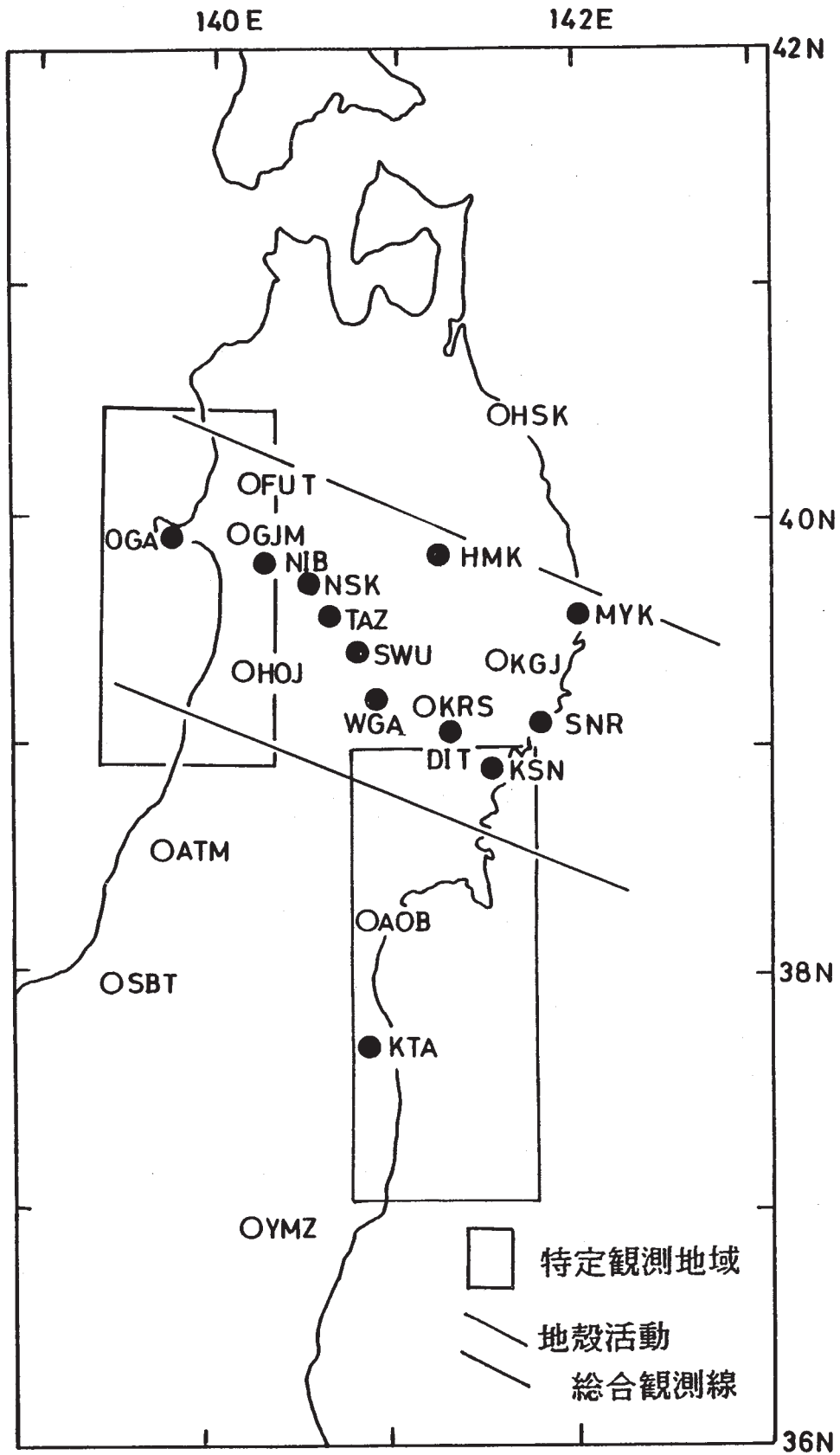
- (4) 経年変化が卓越している観測点

DIT, KSN, HMK, KTA

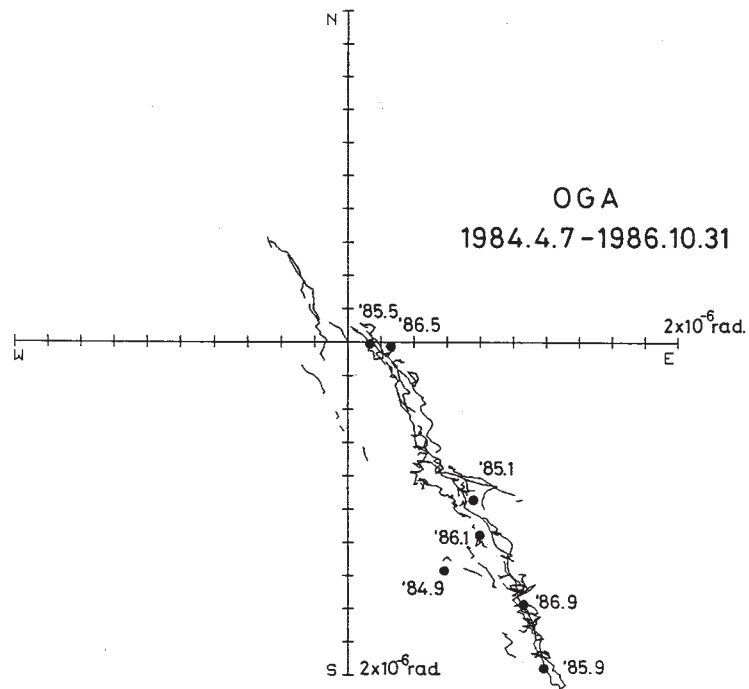
KTAは(4)に分類され, 他と比べると傾斜量は数倍~10倍大きい。双葉断層が直近にあり, 伸縮計のデータにも同様な傾向が見られる<sup>2)</sup>ことから, 断層付近の特異な運動を示唆するものと考えられる。

参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部: 日本海沿岸3観測点(男鹿, 五城目, 仁別)における傾斜変動, 連絡会報, **34** (1985), 44-46.  
2) 東北大学理学部: 東北地方における地殻変動連続観測(歪変化, 1984年1月~1986年7月), 連絡会報, **37** (1987), 56-65

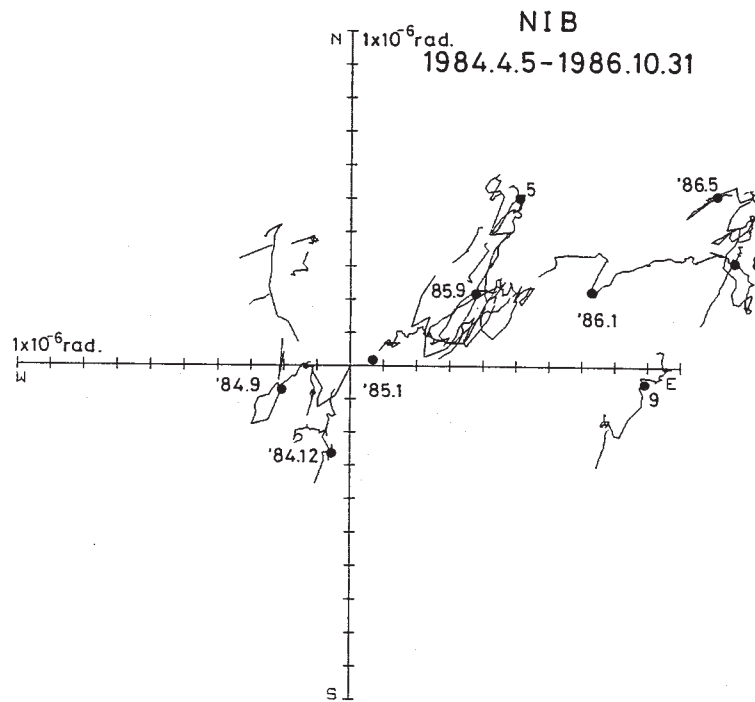


第1図 観測点配置図。黒丸が今回報告する観測点。  
 Fig.1 Location of observation stations.



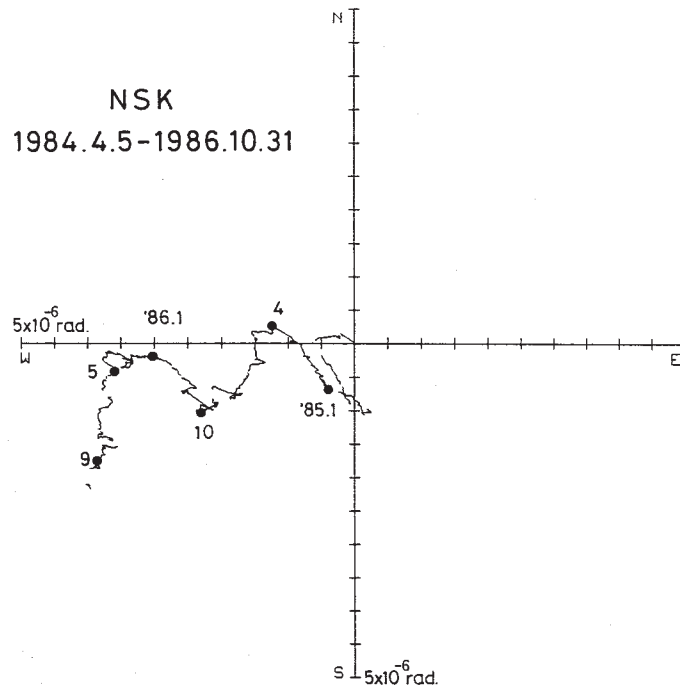
第2図 水管傾斜計により観測された傾斜ベクトル  
(a) 男鹿 (OGA)

Fig. 2 Vector diagram of the Maximum descending tilt direction observed by Water-tube tiltmeters for the period from April, 1984 to October, 1986. (a) OGA, (b) NIB, (c) NSK, (d) TAZ, (e) SWU, (f) WGA, (g) DIT, (h) KSN, (i) HMK, (j) MYK, (k) SNR, (l) KTA.

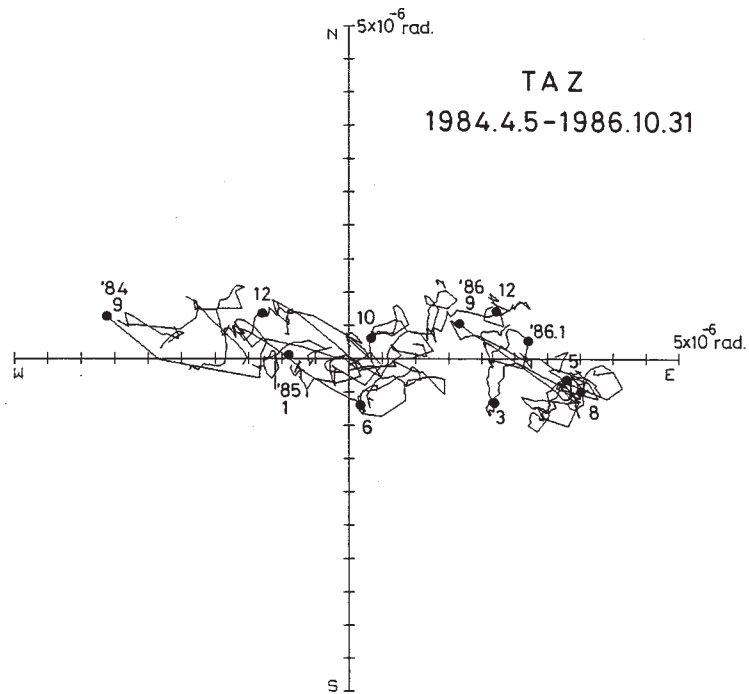


第2図 つづき  
(b) 仁別 (NIB)

Fig. 2 (Continued)

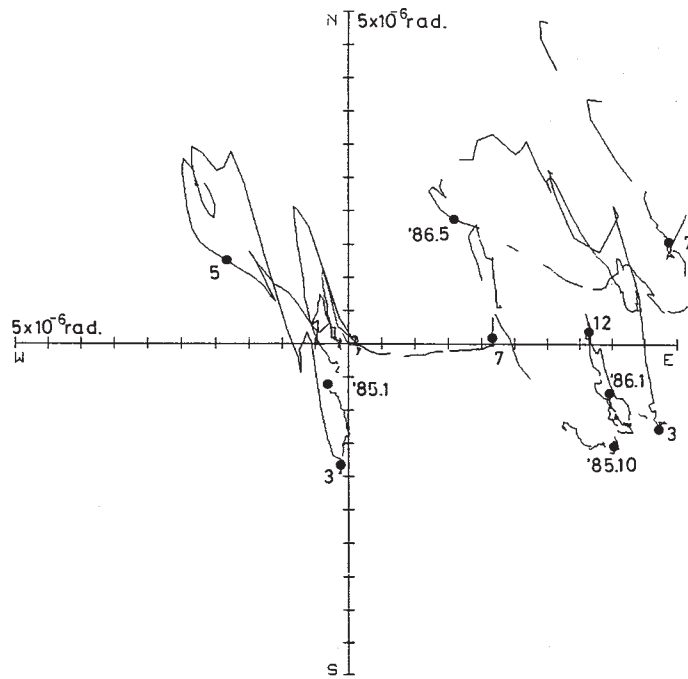


第2図 つづき  
(c) 西木 (NSK)  
Fig. 2 (Continued)

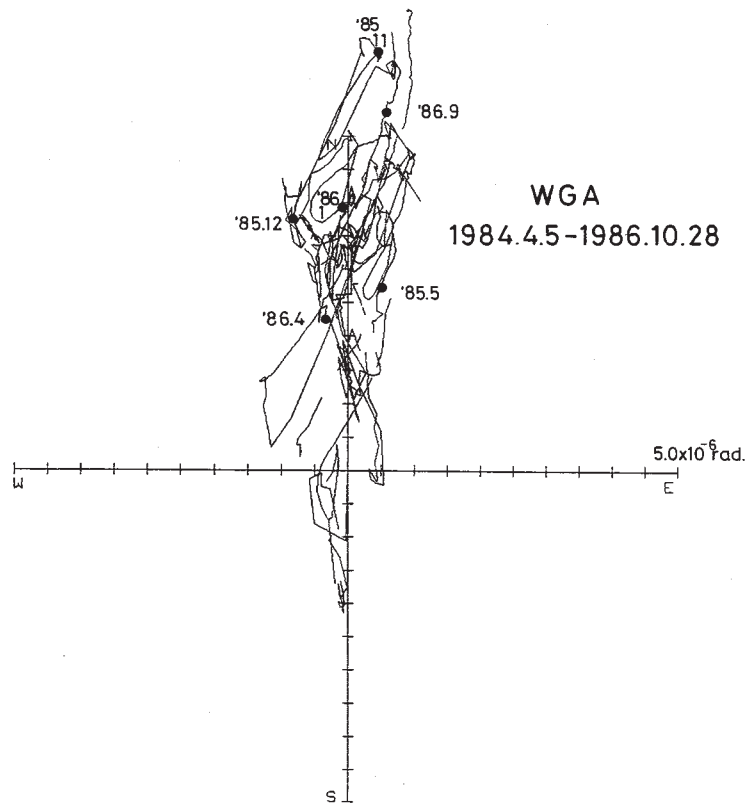


第2図 つづき  
(d) 田沢湖 (TAZ)  
Fig. 2 (Continued)

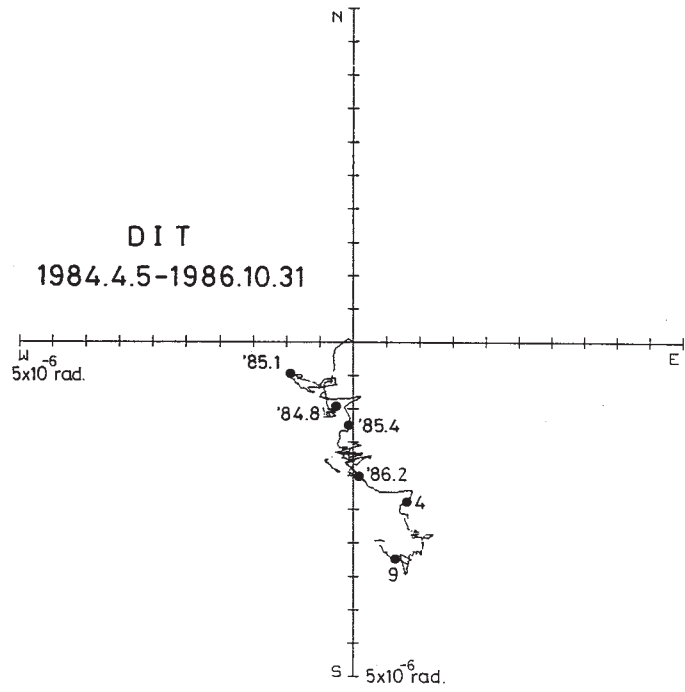
SWU  
1984.8.27-1986.10.31



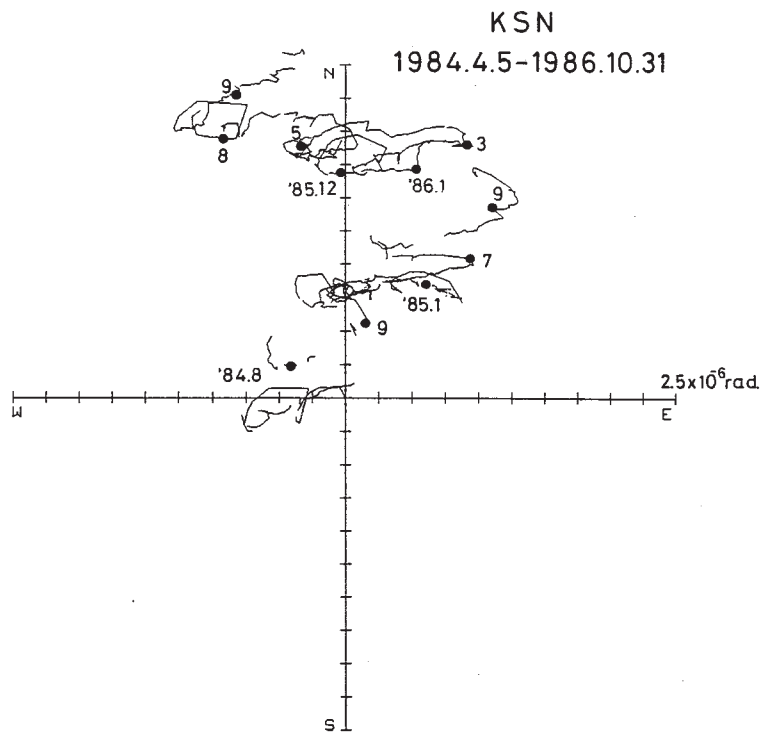
第2図 つづき  
(e) 沢内 (SWU)  
Fig. 2 (Continued)



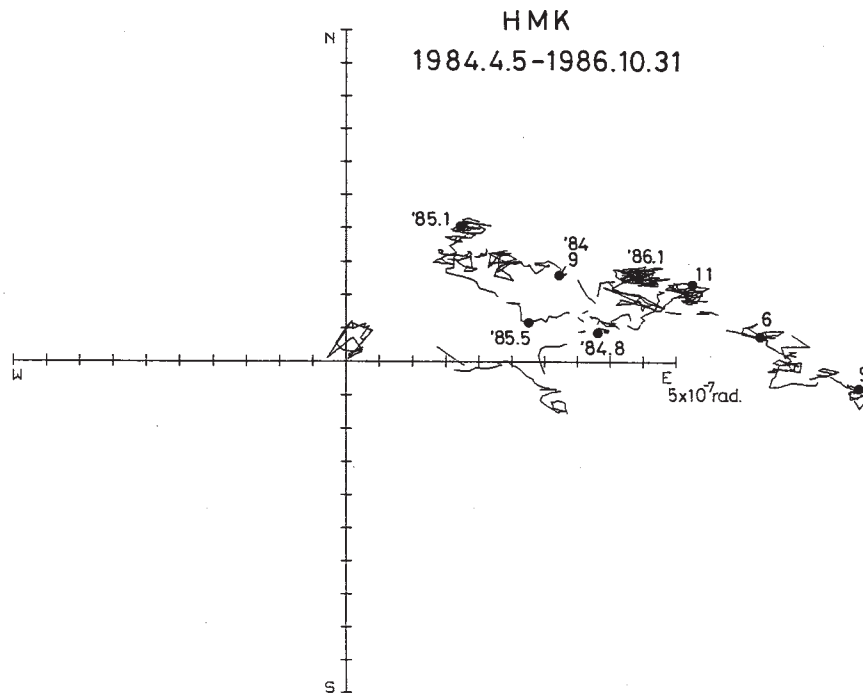
第2図 つづき  
(f) 和賀 (WGA)  
Fig. 2 (Continued)



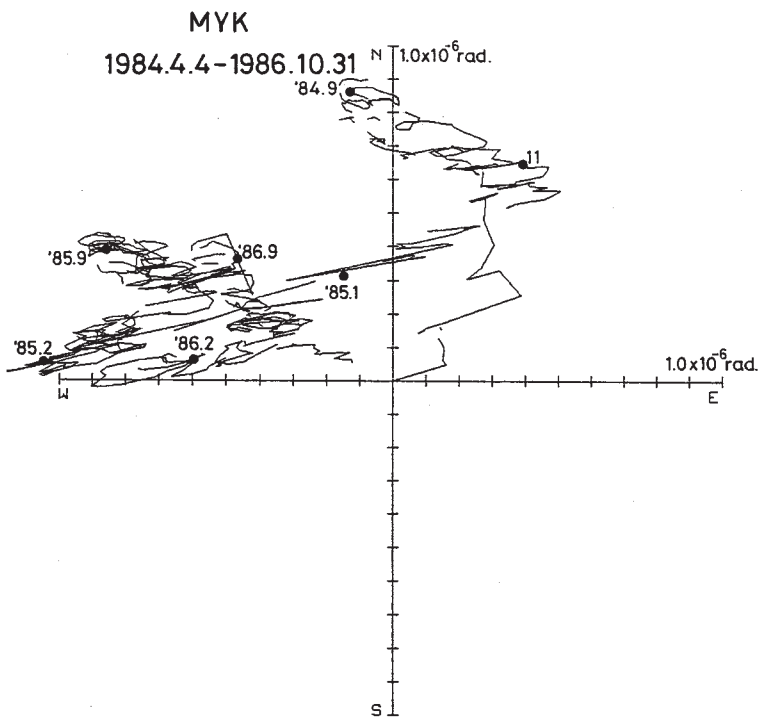
第2図 つづき  
 (g) 大東 (DIT)  
 Fig. 2 (Continued)



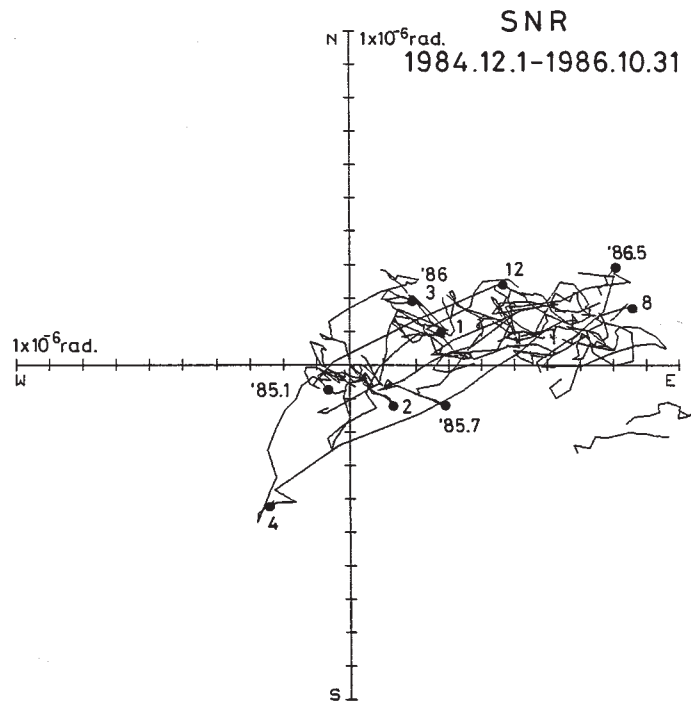
第2図 つづき  
 (h) 気仙沼 (KSN)  
 Fig. 2 (Continued)



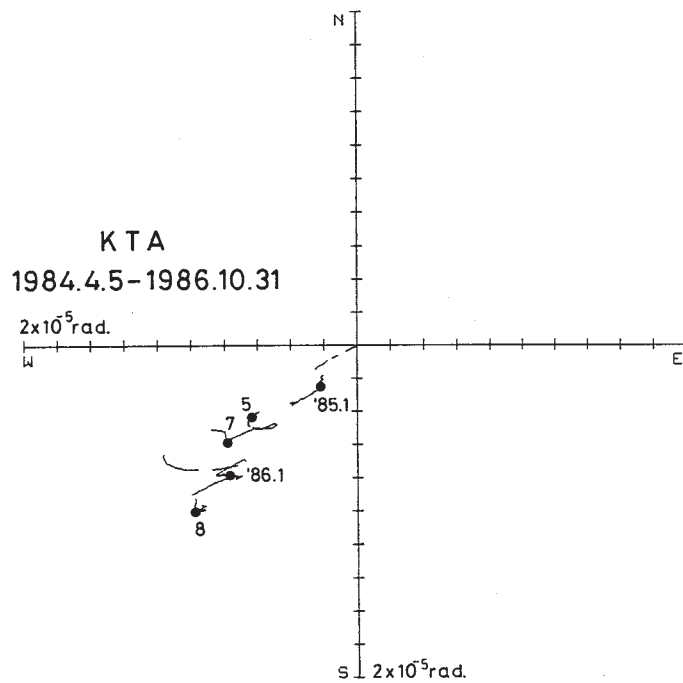
第2図 つづき  
(i) 姫神 (HMK)  
Fig. 2 (Continued)



第2図 つづき  
(j) 宮古 (MYK)  
Fig. 2 (Continued)



第2図 つづき  
 (k) 三陸 (SNR)  
 Fig. 2 (Continued)



第2図 つづき  
 (1) 北阿武隈 (KTA)  
 Fig. 2 (Continued)